

「今」やらないでどうする

桂川町教育委員会
教育長 佐谷 千香子

中学校の学校開放日に、校内を一巡した。3年生の校舎の掲示板に、次のような文章が書いてあった。

…2学期の重点目標…
進路獲得に向け
がむしやらに学習に取り組もう
「今」やらなければ「先」はない
「今」苦しまないで、いつ苦しむ

これを見た時、私は東京大学特別荣誉教授で2002年にノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊^{こしばまさし}さんの言葉を思い出した。

「詰め込みはいけない、ゆとりの教育をと言われてきた。けれど、人間だれでも本当に記憶力の良い年ごろというのがある。

小学校の後半から、中学校にかけて

やればできる東っ子

―桂川東小学校校長 城谷 登志江―

十一月二十二日（土）に開催しました本校創立五十周年記念式典には、来賓の皆様をはじめ、多数の保護者や地域の皆様にご列席いただき、誠にありがとうございました。

式典の中で披露しました朗唱組曲「ふるさと桂東五十年」は、学校及び家庭における子どもの変容を目的とし、家庭との連携を基本として、特に「生きる力」の根幹である「体力」と「耐性」を鍛え、その成果を共同生活における規範意識や集団活動に反映させ、併せて学力の向上につないでいく教育プログラムです。

このプログラムは、「体力・耐性」の向上、異年齢集団での協力性や集団活動能力の向上を目指しており、練習にあたっては、整理整頓や後始末などの基本的な生活習慣、挨拶や礼儀作法等を徹底して鍛えてまいりました。

朗唱も太鼓もチームワークが鍵です。一人でもリズムを崩すと成り立ちません。全員が同じ目標に到達しなければならぬのです。言い換えれば、教職員は全児童をそこまで到達させるよう指導しなければならぬのです。我々にもチー

ムワークが必要になってきます。



子ども達も我々も挫折しそうになった時もありました。その時、力強い後押しをしてくださったのは、保護者や地域の皆様であり、町の様々な社会教育関係団体の皆様でした。教えきれないほどの支援をいただき、子ども達は、当日、見事にやり遂げました。「やればできる東っ子」を見せてくれました。子ども達への「助言と励ましのメッセージ」にもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

